

# ビブリオバトル第3回アンケート

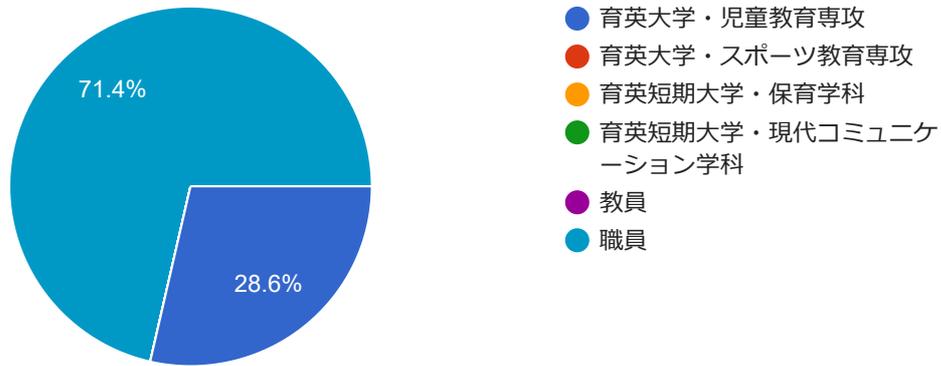
7件の回答

[分析を公開](#)

ご所属を選んでください

 コピー

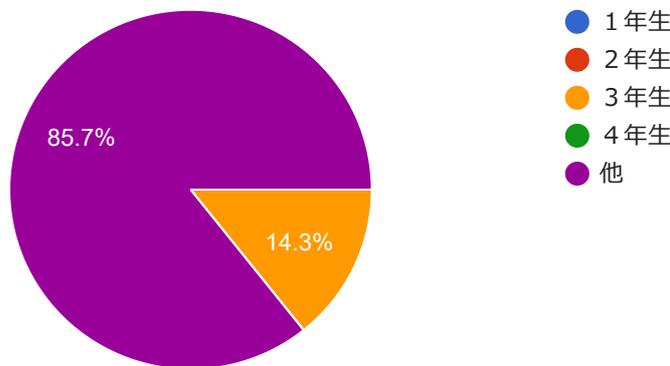
7件の回答



学年を選んでください。教職員の方は、「他」を選んでください。

 コピー

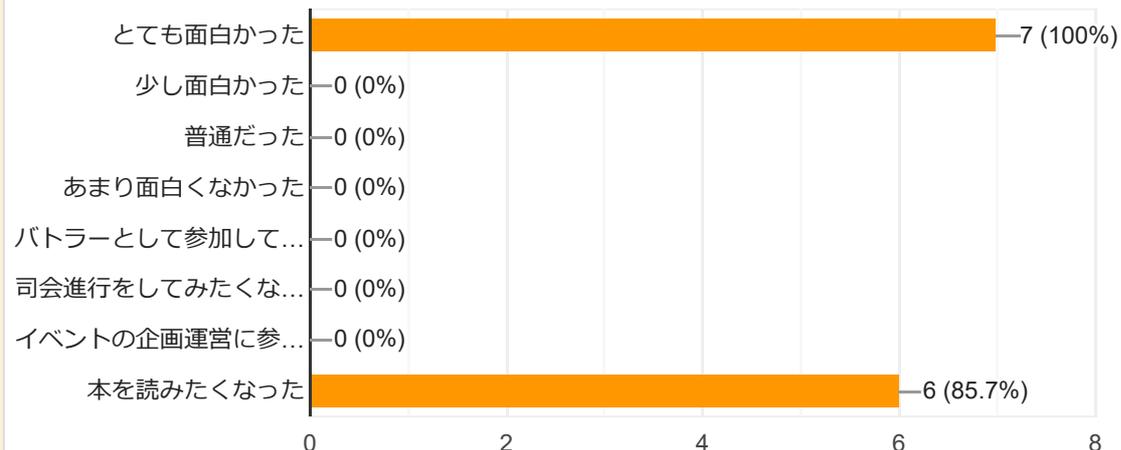
7件の回答



ビブリオバトルをご覧になった印象を選んでください（複数回答可）

 コピー

7件の回答



『学生時代にやらなくてもいい20のこと』朝井リョウ 著を紹介した、大学・児童3年 Uさんへのメッセージをお書きください

6件の回答

やらなくていい、という言葉が反語のように伝わり、日常の何気ない些事こそ人生にとって欠かせない大切な経験だと思えました。

漫画を読んでいるように情景が浮かんで面白いという説明から、作者の世界に入り込んで楽しめるエッセイなんだろうな、と興味が湧いた。笑える本にはなかなか出合えないので、読んでみたくなった。

以前読んだ朝井リョウさんの作品がシリアスな雰囲気だったため、漫画のようなエッセイと聞いて想像がつかず、読んでみたくなりました。読み上げていた目次の時点で笑ってしまったので、おそらく読みます。

朝井リョウ氏のエッセイということで、興味を持って拝聴しました。彼の作品は未読ですが、このエッセイは読んでみたいと思いました。

普段は手に取ることのないジャンルの本ですが、面白そうで興味が沸きました。疲れた時に読んでみたいなあ、と思いました。

著者のエッセイは読んだことがないので興味を持ちました。漫画のように読めるという発表者さんの言葉で、笑える面白いエッセイなんだろうなと思い、読んでみたくなりました。



『壊れた脳 生存する知』 山田規畝子 著を紹介した、Y 司書へのメッセージをお書きください。

6 件の回答

壊れたことを面白いがる知性や探究心が、人間らしく生きる証だと気づきました。

闘病記や病を扱った作品は読んだ後つらくなるが多かったのですが、医師としての冷静な分析や、明るく前向きな文章と聞いて、手に取ってみたいになりました。

博士の遺書が気になりました。

この著者も著書も知っていたけれど、内容が辛そうで読む気にはならなかったのですが、今回の紹介を聞いて読んでも大丈夫かもに変化しました。

結城さんの最初の「何かに悩んだ時に開く一冊です。」の言葉に心を掴まれました。ぜひ読んでみたいと思います。

闘病や病気について描かれた本は読むのが辛くなりそうで、避けることが多かったのですが、前向きな内容になっているということで読んでみたいになりました。息子さんに宛てた手紙もぜひ読んでみたいです。



『あなたとなら食べてもいい』 千早茜 ほか著を紹介した、短大・現コミ2年 Hさんへのメッセージをお書きください。

7件の回答

アンソロジーは、どうしようもなく疲れた時の、脳へのご馳走です。美味しいと思えそうな感じは、強い幸福感を呼び覚まします。

女同士のマウントのお話が、面白そう読んでみたくなった。  
収録されている作品が、同じ作家の他の作品ともつながっていることを嬉しそうにお話されていて、読書をとことん楽しんでいることが感じられて、聞いていて嬉しかった。

食事という身近な題材のアンソロジーは気軽に手に取れそうでいて、読んだ後の満足感もありそうで、ぜひとも読んでみたいです。女子のマウント合戦の話がとても気になります。

マウントの取り合いがどんな内容なのか気になりました。

自分では手に取らないタイプの短編集の紹介でしたが、なんとなく読みやすそうな印象を受けました。短編から新しい作家さんの開拓をするのもありだなと思いました。

いつも谷部さんの本との向き合い方や興味の広さに感心します。  
きっと、心も豊んなんだろうなあ、なんて親目線で拝聴しています。  
若いうちにたくさんのステキな本と出逢ってくださいね。

好きな作家の短編が収録されていることを楽しそうに話している発表者さんの姿が、とても印象的でした。題名からほっこり系のお話が多いのかなと思ったのですが、女子のマウント合戦の話などブラックな話もあるようで、一つ一つ短編を読みたいなと思いました。



『フローリングのお手入れ法』 ウィル・ワイルズ 著を紹介した、T 司書へのメッセージをお書きください。

6 件の回答

カフカの不条理ということばで、久しぶりにカフカを思い出し、自分ではどうしようもない状況に身を委ねる恐怖を味わいました。

ミステリー的展開を思わせる、こちらの想像を掻き立てるような、惹き込まれる語りで、もっと聴いていたかった。いったいどんな展開が待っているのか、内容がとても気になって読みたくなった。

主人公がどんなふうな結末を迎えるのが気になりました。

引き込まれる発表でした。海外の翻訳ものはあまり読まないのですが、気になるので読みたくなりました。

本の内容も然ることながら、紹介の流れがとてもスムーズで上手でした。竹渕さんのブックトークを開催してほしいと思いました。

発表者さんの語りにどんどん惹き込まれていく感じがして、物語の展開がどうなっていくのかとても気になりました。海外の小説はあまり読まないのですが、ストーリーが面白そうで読んでみたくなりました。



ビブリオバトルをご覧になった感想をお書きください。

7件の回答

たとえ細くても継続することにより、本学の文化に貢献していると思います。

初めてバトラーとして参加してみて、いままで参加してくれた皆さんの凄さがよく分かりました。とっでも勉強になりました。すごく緊張してしまっただんですが、自分の好きなものの話を聴いてもらう嬉しさも味わうことができ、終わってみれば純粋に楽しい時間でした。参加してみれば、学生の皆さんは、得るもの沢山あると思うので、参加者を増やしたいです。

バトラーとして参加して、ビブリオバトルにおける本選びの難しさを痛感しました。また、好きなものの魅力を言葉にして伝える非常に良い経験になりました。今後、参加者を募るうえで生かしていきたいです。

落ち着いた雰囲気の中で和気あいあいとできてよかったです。

今回紹介された全ての本を読みたいと思いました。自分の守備範囲以外の本に目を向けるきっかけを与えてもらえるよい企画だと思いました。

準備や設営お疲れさまです。いつも楽しみにしています。毎回、自分が手に取るジャンルとは違った本の紹介があるので視野が広がり嬉しいです。今回の図書館での開催は広さもちょうどよく、カウンターもあり、和やかで良い雰囲気でした。受付か階段のあたりにビブリオバトルの開催場所の案内があると、慌てて来た方にも親切であったように思います。ありがとうございました。

今回のビブリオバトルでは学生さんだけでなく、司書の方もバトラーとして参加していて、幅広い人たちの発表を聞く面白さがありました。読みたい本がどんどん増えていくので、毎回バトラーさんたちの発表を聞くのが楽しみです。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

